

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質							3.4
Q1 室内環境			0.40		-		3.4
1 音環境		2.6	0.15		-		2.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-		
1.2 遮音		3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-		
1.3 吸音		1.0	0.20		-		
2 温熱環境		2.7	0.35		-		2.7
2.1 室温制御		3.2	0.50		-		
1 室温	断熱性の高い外皮仕様	3.0	0.38		-		
2 外皮性能		4.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-		
2.3 空調方式		3.0	0.30		-		
3 光・視環境		4.1	0.25		-		4.1
3.1 昼光利用		4.2	0.30		-		
1 昼光率	昼光率≥2.5%	5.0	0.60		-		
2 方位別開口			-		-		
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策		4.0	0.30		-		
1 昼光制御	ブラインドに庇を組合せてグレアを制御	4.0	1.00		-		
3.3 照度		3.0	0.15		-		
3.4 照明制御	細かい系統分けによる照明制御、端末・リモコン等で調整可能	5.0	0.25		-		
4 空気質環境		4.1	0.25		-		4.1
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00		-		
4.2 換気		3.6	0.30		-		
1 換気量		3.0	0.33		-		
2 自然換気性能		3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮	空気取り入れ口は汚染源のない方位に設けられている 空気を取り入れ口は各種排気口と異方位かつ6m以上離隔	5.0	0.33		-		
4.3 運用管理		5.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視		-	-		-		
2 喫煙の制御	非喫煙者が煙に曝されないような対策	5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能			0.30		-		3.3
1 機能性		3.2	0.40		-		3.2
1.1 機能性・使いやすさ		1.6	0.40		-		
1 広さ・収納性		1.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30		-		
1 広さ感・景観	天井高:3.0m、屋外の情報を得られるように窓を設置	5.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース	執務室面積の1%以上のリフレッシュスペース、自動販売機の設置	5.0	0.33		-		
3 内装計画	機能性のある内装材や演出用照明の採用によりコンセプトを反映した内装計画とし、内観パースで検証を行っている	5.0	0.33		-		
1.3 維持管理		3.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計	防汚性が高い内装材の採用、外部金属への防錆処理等	4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30		-		3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数		4.1	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	アルミパネル、アルミサッシ(40年)	5.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ビニル床シート(20年)、壁:ビニルクロス貼(20年)、天井:ホ-ド類(30年)	5.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	シャワー排気はステンレス鋼板としている	4.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:PE(B)、排水:VP(B)、冷媒:被覆銅管(C)、Eは不使用	5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性		2.8	0.20		-		
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-		
3 電気設備		3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	主要な階高:3.78m	4.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.1以上0.3未満	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	配線用配管の採用	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	配線用配管の採用	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出			敷地周辺の自生種や野鳥に配慮した植栽計画		4.0	0.30	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			緑化による良好な景観を形成		4.0	0.40	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.86		4.4	0.20	4.4
2 自然エネルギー利用					3.0	0.10	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.96		2.2	0.50	2.2
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	主要な用途別エネルギー消費の内訳を確認できる	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水コマ及び自動水栓に加えて節水型便器を採用		4.0	0.40	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			床:ビニル床シート・ビニル床タイル・天井:岩綿吸音板		5.0	0.22	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用し、OA7フロアも採用している		5.0	0.22	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.20	-	-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用			PRTR法の対象物質を含有しない建材種別が4つ確認できる		5.0	0.30	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	GWP値の低い断熱材の採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率97%		3.1	0.33	3.1
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			燃焼設備の設置なし		5.0	0.25	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場55台確保、導入路の幅15mとし、渋滞緩和に配慮した交通計画	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光源は総合効率の高いLED照明を採用し、光害対策ガイドラインの過半を満足 屋外広告物照明の配慮事項の過半を満足	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	